

鉄道ピクトリアル

2009年3月号増刊 Vol.59 No.3 通巻No.816

<特集> 名古屋鉄道

■表紙 2000系「ミュースカイ」……………焼田 健

犬山検査場 2009-1-28
キヤノンEOS5D MarkII EF200mm1.8L 1/2000 f2.8 ISO100

■カラ

Nagoya “DENSHA” Album 2009(1~8・171~173ページ)

安田孝哉・山中 茂・沼尾吉晃・山口大介・佐野嘉春
澤木良直・戸塚光弘・眼目佳秀・焼田 健・浜村正弘
早川昭文・岸 義則・稲葉克彦・津山英士
有終のパノラマカー(174・175ページ) ……大沼一英・安田孝哉・稲葉克彦
名鉄電車Nostalgic color(176・177ページ) ……鶴田 裕・長谷川明・小林 武
写真で見る名鉄モノレール線の車両史(178ページ) ……伊藤 博康
甦ったフェニックス モ7001-モ7002保存展示までの34日間
(256・257ページ) ……写真提供:名古屋鉄道

■グラフ

続 絵葉書が語る名古屋鉄道前史時代……………白土 貞夫… 83
1950~51年撮影 名古屋鉄道のアルバムから…伊藤 昭・伊藤威信… 88
思い出の名鉄貨物列車……………構成:編集部… 92
懐かしの名鉄軌道線……………構成:編集部… 94
回想 駅をめぐる風景……………構成:編集部…179
名鉄新線建設の時代……………構成:編集部…184
LE-carキハ10・20・30形のあゆみ……………写真:牧 光一ほか…186
白井良和氏の記録に見る名鉄パノラマカー……………構成:編集部…188
パノラマカー7000・7500系の形態分類-方向板・台車・屋上機器編-
……………三浦 弘人…190

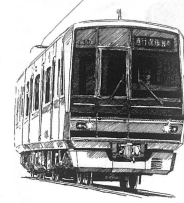
■本文

今月の話題:名古屋鉄道……………編集部… 9
総説:名古屋鉄道……………名古屋鉄道広報宣伝部… 10
名古屋鉄道の鉄道事業を語る……………柚原 誠・金城光英… 17
営業設備とサービス……………坂野 慎… 25
駅、乗務区のあらまし……………越智聖二・小笠原裕・滝本盛正… 31
輸送と運転 近年の動向……………太田 貴之… 36
車両総説……………川口 順平… 48
検車区の概要……………伊藤 慎悟… 58
舞木検査場の業務と設備……………田中 義人… 62
電力設備の概要……………榊 原 洋… 69
信号保安設備の概要……………伊藤 繁幸… 73
通信設備の概要……………御堂 直弘… 78
線路と保線……………高橋 大介… 99
空港線中部国際空港駅2面3線化工事……………安達 宗徳…104
最近の鉄道施設改良工事の現状……………小笠原英喜…108
名古屋鉄道の新線展開を振り返る……………清水 武…114
名古屋鉄道とともに一運転に携わったOBに聞く往年の名鉄-
柘植鉄三氏、武馬康允氏の名鉄時代…122
名鉄の駅、構内設備の思い出 半世紀前の配線略図から…澤田 幸雄…138
名鉄沿線の古レール-全274駅を調査-…松永 直幸…150
岡崎を中心とした名鉄電車こぼれ話……………藤 井 建…158
岐阜駅から見た名鉄の印象……………渡利 正彦…164
運命を分けた二つの併用橋 犬山橋と忠節橋…半野久光・志水 茂…195
竹鼻鉄道「竹鼻駅」駅名異聞……………白土 貞夫…202
名鉄の私有貨車……………澤内 一晃…208
パノラマカーと犬山モノレールの初期の思い出……………白井 昭…212
パノラマカー7000・7500系の形態分類……………三浦 弘人…214
名鉄車両一音と色……………中山 嘉彦…230
名古屋鉄道 列車運転の興味……………豊田 浩基…234
名鉄電車もう一度歩き乗り記……………根本 幸男…243
名古屋鉄道 現有車両プロフィール2009……………外山 勝彦…259
名古屋鉄道 現有車両編成表……………資料提供:名古屋鉄道…308
名古屋鉄道 現有車両車歴表・主要諸元表……………作成:外山勝彦…310
資料提供:名古屋鉄道

後部車から……………327

ISSN0040-4047
Tetsudo pikutoriaru

今月の話題



カット:松本一雄

名古屋鉄道

名古屋鉄道は、東京、大阪に次ぐ大都市圏である名古屋都市圏を中心に路線網を展開する大手民鉄で、愛知、岐阜両県の交通ネットワークの一翼を担い、通勤・通学、観光、空港アクセスをはじめ、地域の基幹交通として重要な役割を果たしている。創業は1894(明治27)年6月25日で、前身である明治期の愛知馬車鉄道設立日を創業日として定めている。名古屋鉄道としての設立は1921(大正10)年6月13日で、以後、岐阜、尾張、三河に数多く開業していた鉄道を合併し拡大を図った。

現在の名古屋鉄道は豊橋-名古屋-岐阜を結ぶ名古屋本線99.8kmを中心とした444.2km(2009年1月現在)の路線で形成されている。かつては500kmを上回っていたが、近年閑散線区および岐阜市内線などの廃止により、営業キロを減じている。2007(平成19)年度末における輸送人員は345,328千人で、2003年の上飯田連絡線の開業、2005年の中部国際空港へのアクセス輸送開始以降、微増を維持している。資本金は841億8,500万円、本社は名古屋市中村区名駅1丁目2番4号、従業員数は5,055人(2007年度末)である。

空港アクセスをはじめ主要路線の輸送は堅調であるが、採算が厳しい閑散路線も多く、また昨今の急激な景気悪化による輸送への影響が今後懸念される所だ。そうした中、2008(平成20)年12月27日には大規模なダイヤ改正を実施し、従来の特急政策を大きく転換するなど、乗客本位の施策を積極的に展開しており、今後の成果が期待される。その一方、名鉄の象徴的存在として一世を風靡したパノラマカーが惜しまれつつ引退、犬山モノレールも廃止となり、時代の様変わり感が強い。名鉄の更なる躍進を祈りたいと思う。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI
Oak Ochanomizu Bldg., Kanda Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan